

アジア地域における環境上適正なプラスチック廃棄物管理・処理技術支援事業（概要）
Project on Environmentally Sound Management, Treatment and Technology on Plastic Waste in Asia

実施機関	国連環境計画 国際環境技術センター（UNEP-IETC）
目的	G20 大阪サミットで採択された「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」に基づき、アジア地域における環境上適正なプラスチック廃棄物管理・処理技術支援事業の実施を通じて、海洋プラスチックごみ対策「マリーン（MARINE）・イニシアティブ」に貢献する。具体的には、アジア地域におけるプラスチック廃棄物の管理・処理技術の現状・ニーズに基づき、日本を中心としたプラスチック廃棄物の環境上適正な管理・処理技術情報を横断的に結び付けた循環型社会デジタルプラットフォームを構築し、アジア地域におけるプラスチック廃棄物の削減や適正管理・処理支援を推進する。
活動内容	<p>1. アジア地域におけるプラスチック廃棄物の管理・処理技術のニーズ調査</p> <p>UNEP-IETC が実施している関連プロジェクト成果等を通して、プラスチック廃棄物管理・処理技術のニーズ調査を行う。具体的には、プラスチック廃棄物管理に関する一連のプロセス（分別、回収、保管、処理、リサイクル、最終処分）におけるニーズ分析を実施し、開発途上国におけるニーズを明確化する。</p> <p>2. プラスチック廃棄物管理・処理技術を横断的に結び付けた循環型社会デジタルプラットフォームの作成・国際的な発信</p> <p>プラスチック廃棄物管理・処理に関する一連のプロセス（分別、回収、保管、処理、リサイクル、処分）における各種技術を横断的に結び付けた「循環型社会デジタルプラットフォーム」を構築する。具体的には、情報技術（IT）・人工知能（AI）を活用し、関連企業情報や環境省データベース¹等、オンライン上の関連情報のデータマイニング（または企業・データベース登録制による抽出）、自動更新、精査化、可視化、自動翻訳による多言語化を組合わせた新たな循環型社会デジタルプラットフォームの開発・運用を行う。また、循環型社会デジタルプラットフォームは、開発途上国のニーズ調査結果とマッチングさせ、開発途上国・都市において必要な技術と入手・利用可能な環境上適正な技術の導入を促す。さらに入手可能な関連統計情報等を統合し、廃棄物関連データの推計値自動算出も組込む。</p>
結果・成果	<p>プラスチック廃棄物管理・処理技術を横断的に結び付けた循環型社会デジタルプラットフォームを構築し、それを活用した廃棄物管理技術の国際展開</p> <p>→ 「マリーン（MARINE）・イニシアティブ」の重点①廃棄物管理“Ma”への貢献</p> <p>→ SDGs に貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SDG9：産業と技術革新の基盤をつくろう ● SDG12：つくる責任つかう責任 ● SDG14：海の豊かさを守ろう ● SDG17：パートナーシップで目標を達成しよう

¹ 我が国の循環産業に関する技術及び企業の紹介, http://www.env.go.jp/recycle/circul/venous_industry/ja/index.html

(参考)

日本企業が保有するプラスチック廃棄物に関する環境上適正な技術と開発途上国のニーズをマッチングさせるために、関連展示会等において日本の関連技術の紹介やマッチングイベント・セミナーを実施し、日本の環境技術の途上国への展開・ビジネスチャンスを促進する。

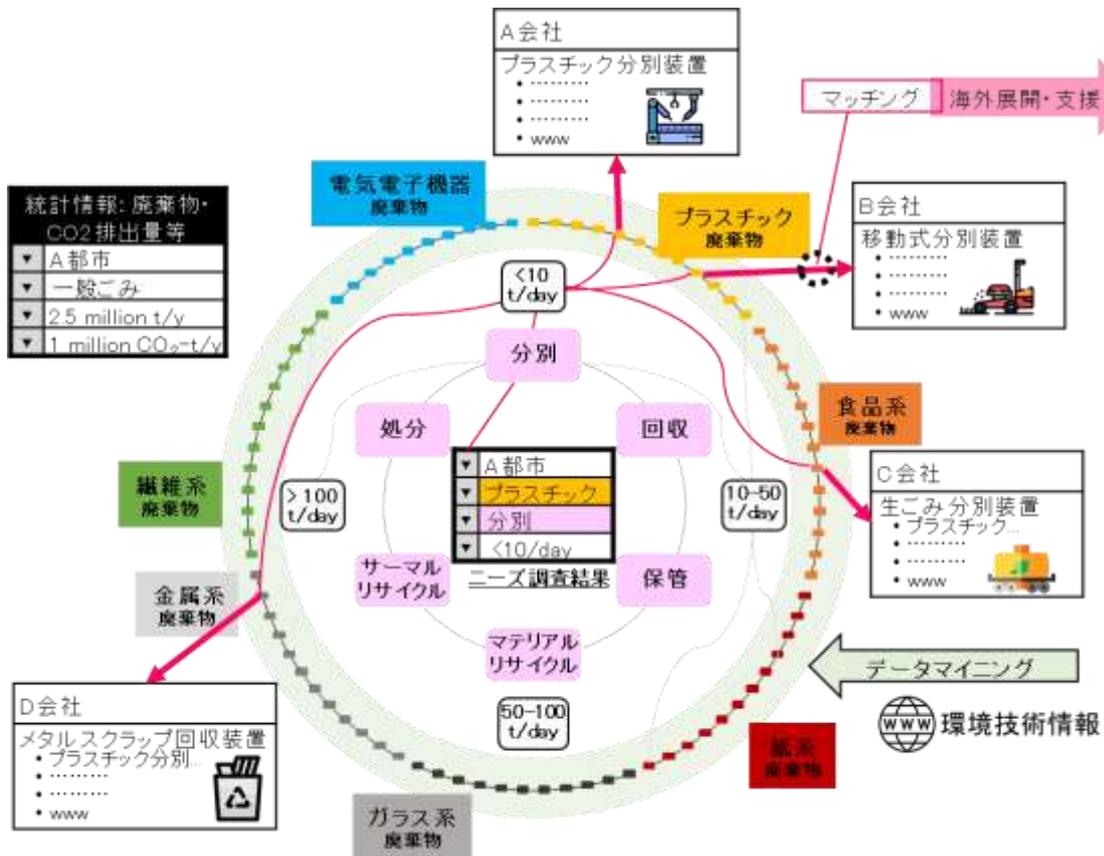


図. 循環型社会デジタルプラットフォーム (イメージ)